

令和4年度 学校経営計画

1 学校教育目標

(1) 教育目標

- ・他人を思いやる心と豊かな人間性を育み、責任を重んじる自主・自律的な人格を育成する。
- ・自己の使命を自覚し、倫理を尊び、規律を守る社会性豊かな人間を育成する。
- ・高い志をもって真理を探究し、技術を磨き、社会の進歩発展に寄与する工業技術者を育成する。

(2) 教育方針

- ・主体的に学び、自ら問題を発見し、課題を解決する実践力と創造性を育成する。
- ・基礎学力と情報活用能力を充実させ、専門技術・技能の練磨を図る。
- ・勤労意欲と責任感、協調性を育成する。
- ・健康な心身と節度ある態度を育成する。

2 学校の特色

新川地区唯一の工業高校である。生徒は純朴で「ものづくり」に興味・関心をもつ者が多く、専門分野の知識・技能の習得や資格取得に積極的に取り組んでいる。また、課題研究、各種ロボット等の製作をはじめとする「ものづくり」を通して、創造性、課題解決能力の育成に努めている。

部活動も活発で、競技力の向上に加え、自主・自律的な人格形成を目指している。

3 学校の現状と課題

(1) 現状と問題点

- ・明るく純朴な生徒が多い中で、判断力、自己抑制力、規範意識、コミュニケーション能力等が低い生徒が見受けられる。
- ・基礎学力、学習意欲の低下、目的意識の希薄さから、学校生活に意義を見いだすことのできない生徒が少なからず見受けられるので、個人面接、部活動、教科指導等いろいろな場面で心の交流に努め、家庭と学校が連携して生徒の健全な育成に努める必要がある。

(2) 課題

- ・生徒一人一人について、能力・適性の伸長を図ることを目標として、積極的に実践することのできる生き生きとした生徒の育成を図るために、次の課題を設定した。

－ 活力ある生徒の育成を目指して －

(様式2)

4 学校教育計画

項目	目標・方針及び計画	
1 学習活動 重点1	目標	<ul style="list-style-type: none">・地域や生徒の実態を踏まえ、系統的な基礎的・基本的学習内容や体験学習等を重視しながら、生徒が主体的・対話的に取り組むことができるよう授業形態や展開を工夫する。・「教科横断しながら育成を目指す資質・能力」の共有を図り、学習内容の精選・構造化等、組織的な授業改善に努める。・ICTの積極的な活用と効率的な教材作成に努め、学習内容の充実を図る。・検定合格・資格取得に向け、生徒が意欲的に学習するような指導方法の研究・実践に努める。・生徒に進路についての明確な目的意識をもたせ、意欲的かつ計画的に学習に取り組ませるよう努める。
	計画	<ul style="list-style-type: none">・生徒の実態把握のための調査と結果の分析及び対策プランの作成と実行までを一連の作業とし、継続的に行う。・各教科等で現代的な諸課題を題材として活用した授業の充実を図りながら、その題材の問題解決を通して必要な資質・能力の育成を図る。・<u>ICTの利活用について研究・理解を深め、互見授業による教員研修や事後の研修会を積極的に行い、ICTを活用した指導力の向上に努めるとともに、生徒が主体的・対話的に参加し、深い学びにたどりつく授業を目指す。</u>・<u>各種資格試験や検定試験の案内や年間計画を配布したり、ジュニアマイスターポイントの取得状況を確認させたりして、資格・検定の取得意欲を高めさせるとともに、自ら学びに向かう生徒を支援する。</u>・関連の深い県内工場の見学や、インターンシップにより、望ましい勤労観・職業観を育成する。また産業界で活躍する専門的技術者を招集し、企業現場の実態や先端技術を学び、専門的知識・技術の深化を図る。
2 学校生活 重点2 重点5	目標	<ul style="list-style-type: none">・<u>基本的生活習慣を確立させる。</u>・<u>社会の一員として必要なルール・マナーの向上と規範意識の高揚に努める。</u>・豊かな人間関係を築くことのできる生徒の育成に努める。・教師間の共通理解を深め、全職員による指導体制を確立する。・生徒一人一人が健康と安全及び環境衛生に対する理解を深め、主体的に健康管理ができる能力を身に付けさせる。・生徒一人一人が充実した高校生活を送ることができるよう援助する。・生徒が学校生活で直面する種々の問題や悩みを自ら解決し、自らの生き方を選択・行動できるよう援助する。
	計画	<ul style="list-style-type: none">・欠席・遅刻の多い生徒への個別指導を充実させるとともに、家庭との連絡を密にする。・定期的に、頭髪・服装指導を実施し、諸規則遵守の気風育成と規範意識の高揚を図る。・式典、集会への参加態度を正す指導を徹底する。・登校指導やさわやか運動及び日常生活を通して、積極的に声かけを行い、人間関係の基本となる挨拶や正しい言葉遣いを身に付けさせる。・校内巡視を実施し、問題行動の未然防止に努める。また、問題行動を起こした生徒に対しては、生徒指導部、学年、科を中心に組織的・継続的な指導を行う。・「健康を考える日」や学校保健委員会等を通して、健康・安全に対する関心や理解を深め、個々の生活リズムや食生活の見直しを図る機会とする。・生徒保健委員会が中心となり、環境衛生（手洗いやアルコール消毒含む）の啓発活動を行う。・入学時のオリエンテーションや学級活動・清掃指導等を通してゴミの分別とマナーの向上を図る。・生徒を支援するにあたり、担任、保護者、養護教諭や専門機関との連携を大切にし、関係者が協力しながら取り組む。・校内研修会や学年会などを通じて教職員の共通理解を深め、資質の向上を図る。・年に2回(1週間程度の期間)の相談週間を設け、担任による個別面接指導を行う。

3	進路支援	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>様々な機会の中で、生徒自らが能力を発見・伸長し、進路への意識の高揚を図る。</u> ・社会での使命を自覚させ、自分の能力・適性にあった進路選択ができるよう指導する。
		重点3 計画	<ul style="list-style-type: none"> ・工場見学、進路講話、先輩との座談会等の実施を推進する。 ・インターンシップを推進し、職業観・勤労観を育成し、同時に社会人としてのマナー等も学ぶ。 ・応募前に、希望する企業への職場見学を推奨する。 ・進学希望者に対しては、希望校への体験入学等の参加を推奨する。
4	特別活動	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事・部活動・生徒会活動・ボランティア活動などへの積極的な参加を促し、責任感・集団の一員としての社会性・道徳性・忍耐力等の育成に努める。
		重点4 計画	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>部活動の加入率の向上、活性化に努める。</u> ・週休日を含む週2日以上の休養日を設定し、部活動が密度の高いものになるよう創意工夫する。 ・学校行事（体育大会や競技大会等）に生徒が積極的に参加するように努める。 ・募金や地域の活動への参加等ボランティア活動に積極的に参加する。 ・校舎内外の美化活動や全校生徒のマナー意識の向上に積極的に取り組む。 ・ホームルームの時間の活性化を図る。 ・図書館の活用法を生徒に指導するため、ホームルームの年間計画に図書館の利用についての時間を設ける。
5	その他	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標の具現化及び教育方針の達成のため、構造的・機能的に校務分掌を組織し、適材適所に基づいた校務分掌により、的確、敏速な校務の遂行を図る。 ・奨学金貸与、安全振興会の周知等、生徒が安心して学校生活を送れるよう努める。 ・保護者との連携を深め、より活発なPTA活動を目指す。 ・文書の有効利用及び情報の開示への対応に向け、適切な情報管理を行うとともに、法令等に基づき個人情報の保護に努める。 ・教育目標の実現に向け、各科と連携を図りながら効果的な予算執行により、教育環境の整備を推進する。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ・分掌、学年、教科、各委員会等を通して業務内容の共通理解を図り、業務分担を明確にし、適正、円滑な校務運営に努める。 ・奨学金貸与、安全振興会等について、生徒、保護者に周知徹底する。 ・保護者の研修、広報活動をより活発に行うとともに、「さわやか運動」「祭礼、年末時の巡視」など生活指導において保護者との連携に努める。 ・情報開示が適切に行われるために、管理文書の分類、記録、保存、廃棄方法などを明確にし、対応窓口を一本化するなど文書管理体制の整備を行う。 ・個人情報の収集、利用、保管について、適正な取扱いのためのルールを定め、その運用管理体制を整備する。また、情報モラル向上のための校内研修を行う。 ・年度当初の各科及び各係からの予算要望を基に教育計画に従い、計画的かつ有効に予算を執行する。 ・全教職員と連携しながら安全に留意し、適切な施設設備の維持管理に努める。